

ニッポンハム食の未来財団 2023 年度第一期 団体活動支援助成 完了報告書

企画活動名	第 8 回ふくおか食物アレルギー攻略法講座（講演会） —食物アレルギーの正しい理解・集団生活対応・誤食予防の最前線—
フリガナ	シバタ ルミコ
申請者（代表者）氏名	柴田 瑠美子
団体名（正式名称）	団体名：特定非営利活動法人福岡食物アレルギーネットワーク 申請者の役職・肩書など：理事長

1. 活動結果要約

今回の講演会の目的は、当ネットワークで作成した食物アレルギーに関するお役立ち冊子を教本として、食物アレルギー児を持つ保護者（特に新しく食物アレルギーと診断されたお子さんの保護者）や園/小学校関係者に対し、まずは機序等の基礎知識を知ってもらうこと、入園入学後の集団生活の注意点、誤食事故を起こさないために/起こしてしまったら、さらに万が一の時のためのエピペン注射剤（アレルギー児が誤食等によりアナフィラキシーを起こした場合に症状の進行を一時的に緩和しショックを防ぐための注射剤）の打ち方/注意点を解説し理解してもらうことである。

今講演会も後日の動画配信をおこなったが、遠方や体調不良等で参加できなかった方が見ることができると評価をいただいた。これにより当日参加と同等の知識を習得してもらうことができた。

今講演会でも昨年に続き、福岡地区小児科医会様、国立病院機構福岡病院アレルギーセンター様に後援についていただき、広く案内をすることができた。

2. 活動目的

食物アレルギーを持つお子さん、特に初めて食物アレルギーと診断されたお子さんの保護者は、何をどう考えて子育てしたらよいか不安に思っており、誰に相談したらよいかわからない状態である。インターネットで検索すると間違った情報もあり、事故につながることもある。そこで、食物アレルギーの基礎、検査、診断、最新の治療情報までの正しい知識を専門医を講師として学んでいただき、まずは日常生活において安心して子育てができるようにしてもらう。

また、食物アレルギー児が新しく集団生活を始めるにあたっての注意点、外出時の注意点を保護者、園/学校関係者ともに理解してもらう。

さらに、誤食事故を起こさないために知っておくべきこと、もし事故を起こしてしまった場合の対処方法を知識として習得していただく。

エピペン（アレルギー児が誤食等によりアナフィラキシーを起こした場合に症状の進行を一時的に緩和しショックを防ぐための注射剤）について、保護者側は処方時に使い方の説明は受けているが、使う機会がないと忘れてしまう。園/学校関係者も使う機会がないといざという時に一歩が出ない。それぞれに使う場面を想定し実機を使用して使い方をマスターしておくことで、万が一の時にスムーズに使用できるようにしておく。

3. 活動方法

【計画通りに実勢できたこと】

- ・2023 年 10 月または 11 月のいずれか 1 日に 180 分程度の講演会 ○ → 2023/11/26 実施済み
- ・福岡市内の会場で ○ →福岡市中央区あいれふ講堂で実施済み
- ・アレルギー専門医師を講師として ○ →アレルギー専門医の講師 3 名＋小児アレルギーエディタ/管理栄養士 1 名で実施済み
- ・対象は、福岡及び近郊の食物アレルギーのお子さんをお持ちの保護者（特に新入園新入学のお子さんをお持ちの保護者）および園/学校関係者の合計 80 名 △ →合計 56 名参加
- ・講演会を動画撮影し後日配信することで、参加できなかった方々含め広くに視聴いただき啓発する ○ →動画配信済み

・ 講座内容 ○ →以下の通りすべて計画通り実施済み

1、アレルギー基礎講座	30 分
2、最新治療最前線（重症ミルクアレルギー児のオリゴ糖ケストースの効果）	30 分
3、園/学校の集団生活の注意点/お出かけ時の注意点	30 分
4、誤食事故を起こさないために/起こしてしまったら	30 分
5、エピペンの使い方講習	30 分
6、質疑応答	15 分

＊この他講演会場にアレルギー対応食/災害時非常食を展示し紹介した

【当初の計画と比較して計画通りに実施できなかったこと】

・ 参加人数は 80 名予定して募集したが、56 名となった。

11 月後半で保育園のイベントが重なったこと、申込はあったが体調不良で不参加であったかた方が多数いたことでこの人数になった。当日不参加の方々へは、後日動画配信の案内を行い視聴いただいた。

その他は、計画通りに実施できた。

【計画から外れて実施したこと】

計画した事項のみ実施したため、外れて実施したことはなし。

4. 結果及び波及効果

・ 講演内容について終了後のアンケートから、保護者からは、「アレルギーの正しい基礎知識が収得できてよかった。新入園や新入学を控えて方々からは、園/学校への申し入れや注意点がわかってよかった。」との評価を得た。

・ 園/学校関係者からは、「正しい知識が収得できた、お子さんを預かる上での集団生活での注意点がわかってよかった。保護者が何が不安を感じているかが分かった」との評価を得た。

- ・ 外食時や友達の家や親せきの家に遊びに行くときの注意点もわかりよかった。
- ・ 誤食防止については、保護者および園/学校関係者からも、徹底することと万が一誤食した時の対処法もわかりよかった。
- ・ エピペンについて、なかなか打つ機会がないので不安であったが、実際に注射器を使うことができたので、体で覚えることができたとの評価。
- ・ アレルギー対応商品および災害時の対応商品の展示により、対応商品があることは知っていたが、災害用が豊富にあることを知らなかったかたが多くいたため、知っていただく機会になった。
- ・ 動画配信により遠方にお住まいや当日体調不良で参加できなかった方が動画を視聴され、正しい最新の情報が見られてよかったとの評価をいただいた。
- ・ 講演最後に Q&A をおこなったが、保護者からの悩み、園/学校関係者からの悩みを共有できたため、同じ不安や疑問を持った方々に対しその解消ができたこと、およびこれから同じ事象にあった場合に対処できるように情報共有ができた。

【講義風景】



【協賛メーカー様展示 災害対策用】



SN食品様



アルファ食品様



黒潮缶詰様

【協賛メーカー様展示

アレルギー対応食品スキンケア商品栄養バランスサプリメントドクストース



ネティエノ様



ネティエノ様



アスパック企業様/セントラルケア様



ナチュラルサイエンス様



石井食品様



ネスレ日本様



オタフク様



キュービー様



エスビー食品様



永谷園様



エスビー食品様



永谷園様



ケンミン食品様



mog様

5. 今後の活動について

【今後必要なこと】

- ・毎年、新たに食物アレルギーと診断されるお子さんは増えており、日常生活や災害時対応、感染症対応に不安や疑問をかかえている保護者も多く、さらにネットの情報氾濫により、不確かな情報を見て間違った対応をする方も多くいるため、専門医による正確な知識の啓発は継続する必要があると考える。

- ・治療方法について、新しく海外で導入されている実績や未承認ながら将来的に導入されそうな方法等の情報も提供することでアレルギー治療も進化していることで期待感をもっていただく。
- ・今回も福岡地区小児科医会様、国立病院機構福岡病院アレルギーセンター様に後援についていただき、今までより信頼感が増し広く案内をすることができたため、今後の講演会等企画でも後援をお願いする。

【考えられる波及効果】

- ・アレルギーに関する正確な情報が伝われば、エビデンスに基づいたガイドラインに沿った検査～治療に参加することで、早い寛解が望め不安なく子育てをおこなってもらえる。
- ・当ネットワークは専門医師とアレルギー児の子育て経験者で構成されているため、相談等の回答をすることで、不安や疑問を解消し子育ての応援ができる。

【終了後の活動計画】

- ・ホームページおよびInstagramを解説し、いつでも相談を受付けている旨発信することおよび情報を配信すること。
- ・講演会/相談会等情報発信の場の企画を継続して行うこと。

以上